

市道の認定について

次のとおり市道の路線を認定する。

2023年（令和5年）9月1日提出

藤沢市長

鈴木恒夫

整理 番号	路線名	起	点	幅員 m	延長 m
		終	点		
1	辻堂 687号線	辻堂新町三丁目1234番102地先		4.5	38.3
		辻堂新町三丁目1234番97地先			
2	藤沢 782号線	西富字西原570番1地先		4.5	30.8
		西富字西原568番6地先			
3	六会 916号線	亀井野字不動前829番30地先		4.5 ～ 4.9	34.9
		亀井野字不動前829番15地先			
4	長後 937号線	長後字下分363番2地先		5.0	89.5
		長後字下分355番9地先			
5	長後 938号線	長後字下分357番9地先		5.0	16.8
		長後字下分357番8地先			
6	御所見 1150号線	宮原字歩一1449番1地先		4.5	40.4
		宮原字歩一1449番15地先			

提案理由

辻堂687号線ほか5路線を認定したいので、道路法第8条第2項の規定により提出する。

参 考

道路法 抜粋

(市町村道の意義及びその路線の認定)

第8条 第3条第4号の市町村道とは、市町村の区域内に存する道路で、市町村長がその路線を認定したものをいう。

2 市町村長が前項の規定により路線を認定しようとする場合においては、あらかじめ当該市町村の議会の議決を経なければならない。

(路線の廃止又は変更)

第10条 都道府県知事又は市町村長は、都道府県道又は市町村道について、一般交通の用に供する必要がなくなつたと認める場合においては、当該路線の全部又は一部を廃止することができる。路線が重複する場合においても、同様とする。

2 都道府県知事又は市町村長は、路線の全部又は一部を廃止し、これに代わるべき路線を認定しようとする場合においては、これらの手続に代えて、路線を変更することができる。

3 第7条第2項から第8項まで及び前条の規定は前2項の規定による都道府県道の路線の廃止又は変更について、第8条第2項から第5項まで及び前条の規定は前2項の規定による市町村道の路線の廃止又は変更について、それぞれ準用する。